

陸上自衛隊目達原駐屯地所属ヘリAH-64Dの墜落事故について

30. 2. 7
防衛省

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月5日1643頃、陸上自衛隊目達原駐屯地所属の第3対戦車ヘリ隊AH-64Dが整備・点検後の試験飛行中に目達原駐屯地の南西約6kmの位置に墜落。 ○ 目達原管制塔から、当該機が東から西に飛行中、機首から落下した様子を確認。墜落した機体はテールローター以外損失。
<p>部外の被害状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建物3棟が火災 ○ 住民1名が軽傷（その他の被害については確認中）
<p>搭乗員の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 操縦士2名（齊藤謙一2等陸佐、高山啓希1等陸曹）の死亡を確認
<p>事案に対する措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故後、直ちに大臣指示 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報収集を徹底し、状況の把握に努めること ② 被害者の有無を確認し、救助等の対応に全力を挙げること ○ 総理大臣より、 <ul style="list-style-type: none"> ① 早急な被害状況の確認及び迅速な人命救助・救出 ② 周辺住民の安全確保の徹底 ③ 国民への迅速な情報提供 の三点について指示。 ○ 自衛隊の保有する全てのヘリコプターの徹底的な整備点検を確実に実施するとともに、事故機と同型機について、飛行停止を指示。 ○ 航空事故調査委員会（委員長：陸幕副長）を設置。 ○ 大野防衛大臣政務官を現地に派遣し、被害者及び関係自治体への説明・謝罪等の対応を実施。 ○ フライトデータレコーダーを自衛隊が回収。



▲戦闘ヘリコプター（AH-64D）

※赤字部分は前回からの変更点

乗員	2名
全幅、全長、全高	14m×17m×5m
全備重量	約10,400kg
巡航速度	約270km/h
エンジン	2基
航続距離	約500km